


【件名】	中曽川砂防工事（その3）その4	【事務所名】	西多摩建設事務所	
【工事場所】	東京都青梅市沢井三丁目地内 中曽川	【受注者名】	有限会社 今村組	
【工期】	令和4年 3月 7日から令和5年4月28日まで	【主たる技術者名】	主任技術者 鈴木 正	

## 【工事概要】

工事 延長 L=83.4 m

- ・ 流木捕捉工（側壁、水叩き含む） 1基
- ・ 帯工 2基
- ・ 流路工 L=54.3m
- ・ 管理用通路工 一式

## 【表彰理由】（※発注者側評価）

施工箇所が狭隘なため、数箇所施工ヤードを借地しており、返還時期を限定されている中で、復旧方法・時期について積極的に説明・提案するとともに、真摯に調整を重ねるなど地権者と良好な関係を保つことができた。また、条件変更に伴い施工内容に変更が生じたが、施工計画を見直し、迅速に対応を行うことで、工期への影響を最小限に抑えることができた。



施工前



施工後

## 【受注者の声】

## ◇ 苦労した点

重機、資材の搬入経路や踏切が狭いため安全に配慮し、仮置き場を借りて車長の短い車で小運搬した点です。

## ◇ 特に工夫した点

搬入経路が直線で急勾配の為、石などが転がるとJR線まで止まらないので機械等が動く時は袋詰め玉石などでバリケードを作りました。

## ◇ 現場で得られたやりがいや達成感

大雨が降れば土砂が流れ、岩が転がりそうな水路だった所が安全で綺麗な水路に変わっていく所などです。

## ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

公共事業（砂防）の重要性を色々な現場を見て学んで欲しいです。



袋詰め玉石設置状況